

第33回クォーク例会報告 - 上木 (2011年06月11日)

6月11日に、クォーク例会を行いました。

模擬授業や理科で教える内容についての検討で盛り上がり、知的で楽しい例会になりました。

【第33回クォーク例会報告】

日時：6月11日(土)午後1時～4時

場所：エコネットさばえ

内容：

3年生 葉の観察(木村)

種類の違う葉を比較してノートに書かせる授業。

比較したものを書くときのフォーマットに従って書かせていた。

3年生は比較しながら調べるという目標があるので、興味深い内容。

ただ、授業の目的が比較することによって達成する内容かどうかを検討する必要がありそうだ。

4年生 天体の授業(古橋)

月と星について、学校で研究授業を行うということで、授業の流れや使う教材について検討した。

ステラナビゲーターやヘッドアースモデルといった、魅力的な教材はあるが、どういう目的でどうやって扱うかが難しい。

まずは、授業の目的をはっきりさせることが大事だ。

2年生 道徳「ならば」(吉田晴美)

被災した日本人が、給水所で並んでいる様子から、並ぶことについて考えさせ、ロールプレイを行って生活に生かしていく資料。

低学年の児童は、道徳の時間に、お手本のような意見をたくさん出す。

しかし、実生活では口で言うようなわけにはいかない。

学んだことを、生活に返していく工夫について考えさせられた。

向山実践「豆電球」(尾川)

セミナーで追試をする場合の、場面の切り取り方や教材の準備について相談を行った。

6月26日のレディース 理科セミナーで行う内容。楽しみ。

5年生 ものの溶け方(上木)

夏の理科セミナーのブースについての相談。

5年生を10年以上担任していないので、最近教えた経験のある方の意見を聞いた。

子どもつまづくところについて、かなりディープに意見交換できて方針が見えてきた。とてもありがたかった。

来月の例会は、7月9日(土)午後1時～4時に

エコネットさばえにて行う予定です。